

1,000人参加～地域ぐるみで取り組む小学校での米づくり体験学習～

- 西三河農協は、西尾市内の18小学校において、年間を通した米づくり体験学習(田植え、かかし作り、稲刈り、収穫祭)を実施している。
- 小学校、PTA・父兄の理解と協力のもとに、地域の水田オペレーターが各校専属の食育推進リーダーとなって、年間を通して児童に農業体験指導を行っている。
- 各校区の地域協力者、行政(西尾市食育推進会議、愛知県、東海農政局)等の支援により、多くの関係者と連携しながら取組を継続している。今後は、市内全小学校での実施を目指す。



【取組の内容】

総合的な学習の時間を活用し、市内18小学校の4・5年生1,174名が体験。

各校は工夫をこらし、泥リンピック、田んぼアート、感謝の会、郷土料理づくり(巻き寿司、箱寿司、餅つきなど)、課題研究への応用などの特色ある取組を展開。

農協が調整役となり、小学校と地域関係者が連携して継続実施。

田植え



かかし作り



稲刈り



収穫祭



【取組の成果】

田植えから収穫までの一連の体験を通じて、子どもたちが、自然への恩恵と生産者の苦労を学ぶことができている。

農業指導者や地域住民にとっても、児童との交流は楽しみであり、大きな励みとなっている。

児童や保護者にとって、地元の農産物や郷土料理への理解を深め、郷土への愛着を育む貴重な機会となっている。

年度末に関係者全員が集まり、意見交換会を開催し、感想を述べあい、市が一体となり継続できる体制が確立されている。



米作りの復習として、クリアファイルを作成し配布

【児童・保護者からの感想】

- 子どもから農業体験の話聞き、地域の農産物を意識するようになった。
- 米作りの大変さが分かり、お米やお米以外の農産物も無駄にしないように地産地消に貢献できるようにしたい。
- 巻きずしを学校で作って、自分もできると自信がついたので、家でも作ってくれた。
- 自分が親から伝えてもらったことを受け継いでいきたい。



秋の農業祭り

市内18校のかかしが勢ぞろい!  
自分たちが作ったかかしを前に記念撮影